

事例18

< 事例概要 >

気胸

- ① 80 歳代、胃癌術後、誤嚥性肺炎（右肺）で人工呼吸器管理中。播種性血管内凝固症候群（DIC）の患者。
- ② DIC治療のため、中心静脈カテーテルを留置予定。
- ③ BMI 17.5 kg/m²。脱水あり。血小板 10 万台/ μ ℓ、PT延長あり。抗血栓薬の使用は無。
- ④ 左内頸静脈よりリアルタイム超音波ガイド下で長針を使用し穿刺。穿刺時少量の気泡流入あり。カテーテル挿入直後に、血圧低下、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）85%、X線で左気胸と診断。脱気したが、穿刺から約4 時間半後に死亡。
- ⑤ 死因は、敗血症性ショックを伴う肺炎、健側肺（左）の緊張性気胸による呼吸不全（疑い）。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。